

平成28年度（2016年度）学校自己評価・関係者評価

学校番号72 長野県木曾青峰高等学校 全日制

| 学校教育目標 | 重点目標 |
|---|---|
| <p>広い視野とやさしく豊かな心を持ち、真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人間を育成する。</p> <p>（教育方針）</p> <p>①自他の敬愛と協力を重んじ、民主的な社会の形成者たるにふさわしい豊かな人間性を養う。</p> <p>②自主・自立の精神を養い、主体的にして責任ある行動のとれる人間を育てる。</p> <p>③学習及び諸活動における真摯・勤勉の気風と切磋琢磨の精神を重んじ、個々の能力の伸長を図る。</p> <p>④多様な学習によって、自らの未来を切り拓く力と創造性豊かな個性をはぐくむ。</p> <p>⑤故郷の社会・文化を大切にする心を培い、地域社会の発展に寄与する人間を育てる。</p> <p>⑥木曾の豊かな自然を愛し、地球環境の未来を考える視野を養う。</p> | <p>①いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</p> <p>②あらゆる分野で生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進する。</p> <p>③生徒の能力や個性を伸ばし、進路希望の実現を図る。</p> <p>④生徒会・部活動などの諸活動を積極的に支援し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。</p> <p>⑤地域社会との連携と開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>⑥各学科の特性を活かす教育活動を進める。</p> |

評価 A…よい B…おおむねよい C…不十分

| 自己評価 | | 学校評議員評価 | |
|--|----|---------|--|
| 学習指導 | 評価 | 評価 | コメント |
| <p>授業内容の充実</p> <p>【成果と課題】生徒の授業への評価はおおむね良好である。生徒によって、授業への取り組みに差がでてきている。</p> <p>【改善策・向上策】従来行なってきた学習活動について有効性を見直しながら時代に即した活動となるよう努めたい。</p> | A | A | <p>・授業への取組、生徒のモチベーションをどのように上げるかが課題。</p> <p>・生徒の能力差が大きいと思われます。これをどう埋めていけるかが重要。</p> |
| <p>家庭学習の習慣</p> <p>【成果と課題】家庭学習に重点をおいた指導を各HRで行っており、着実に成果は出ているが、まだまだ十分でないところがある。</p> <p>【改善策・向上策】クラブ活動や生徒会活動との両立の必要性がある。スマートフォン等の利用時間増加が、家庭学習の時間を圧迫していることが問題である。</p> | B | B | <p>・スマートフォンもそうだが色々な活動で帰宅時間が遅くなることによって家庭学習の時間確保も問題。</p> <p>・個々の生徒の学習意欲を高める事に更に力を！</p> |
| <p>補習内容の充実</p> <p>【成果と課題】土曜補習・休業中の補習など充実した内容になっている。</p> <p>【改善策・向上策】次年度も積極的に行い、進路実現など実質的な成果が出るよう位置づけたい。</p> | A | A | <p>・次年度もお願いします。</p> <p>・補習の生徒、登下校時に生き生きした姿を多く見る。</p> |
| <p>各種資格検定への取り組み</p> <p>【成果と課題】今年も生徒が熱心に資格取得に取り組めた。</p> <p>【改善策・向上策】資格取得のための朝学習の充実を図りたい。</p> | A | A | <p>・専門科展で各種資格を取っている事がよく分かった。</p> <p>・お願いします。</p> <p>・学校の苦勞がよく分かります。</p> |

| 自己評価 | | 学校評議員評価 | |
|--|----|---------|--|
| 進路指導 | 評価 | 評価 | コメント |
| 進路目標の明確化 【成果と課題】 進路目標の明確化は早まってきている。担任の負担は大きいですが、生徒面談の機会を多くとり親身になって進路選択や学校生活について支援していることが、よりよい方向に導いていると考えている。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・お願いします。 ・更に進学校進路先について希望・意欲が持てるようお願いします。 |
| 【改善策・向上策】 今後もキャリア教育を常に見直し、生徒が意欲的に目標実現に向けて学校生活を送れるように具体的な指導を行っていきたい。 | | | |
| 具体的な進路指導 【成果と課題】 3年間を見通した進路指導は概ね確立できており、各学年学科の工夫もあり進路指導行事は成果を上げている。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導は1, 2年生が大事になってくると思います。 ・都市の高校に比べ刺激が少ないと思われます。他校や進路学習施設などを訪ねたり学ぶ事も大いに進めて！ |
| 【改善策・向上策】 3年生の指導に偏りがちだが、自立した進路選択と進路実現に向けて、1, 2年次の進路指導を重視し、充実させたい。 | | | |
| 進路の実現 【成果と課題】 3年生になると生徒は進路実現に向けてよく努力するが、1・2年次の基礎学力の定着がまだ不十分である。2年次の進路希望と実際の進路状況を比較すると、特に国公立大学で希望が叶っていない状況が見られる。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年次にセンター試験の大切さを教えてください。 ・早い内に目標が持てるように！そして刺激を！ |
| 【改善策・向上策】 1・2年次から進路に関わる指導を加え進路意識を高めるとともに、家庭での学習習慣を重視し、具体策を講じたい。 | | | |

| 自己評価 | | 学校評議員評価 | |
|--|----|---------|---|
| 生徒指導 | 評価 | 評価 | コメント |
| 生徒の人権意識の育成 【成果と課題】 情報機器が何らかの形で関わる問題の発生が大きな課題である。本校でも、そうした中で他者の人権を尊重して、不要な書き込みやルールに則った使用を必要と感じさせる事例が多かった。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・明るい挨拶、元気な声、活発な活動等校内で目にする生徒の様子から生徒にとってまずは平穏な充実した学校生活が確保されているものと推察されます。 ・講師の先生を呼んで講演していただくのも良いのではないかと。 ・義務教育や家庭との連携が必要と思う。 ・学校での指導や講習だけでなく、家庭内での話し合いも不可欠ではないかと思えます。 |
| 【改善策・向上策】 事前指導や予防に重点をおくべきである。起きてからでは遅いと考えて、隣の人間の存在を尊重する意識を持たせる工夫が必要である。 | | | |
| 集団生活をとおして社会性の涵養 【成果と課題】 学校生活や家庭生活でのモラル、マナー向上を目指してきた。情報モラル教育が定着して成果を上げてきた。今後は、集団生活をとおして学校生活を送ってゆくことによって社会性、協調性をより涵養する必要が感じられる。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生を呼んで講演していただくのも良いのではないかと。 ・義務教育や家庭との連携が必要と思う。 ・登下校時等地域の住民への挨拶ができる生徒が多く感心しています。 ・学校での指導や講習だけでなく、家庭内での話し合いも不可欠ではないかと思えます。 |
| 【改善策・向上策】 あらゆる校内の集団的な活動を通じて社会性を涵養することを目指す。また、特に情報機器等に関して、そのルール、モラル、マナーを意識させる機会を多く取りたい。 | | | |
| カウンセリングの充実 【成果と課題】 今年新たに、学校適応感に関するアンケート（アセス）を実施し、学年や授業担当の担当者を中心に、情報共有の場を持たせた。関係職員カウンセラーとの連携ができ、相談事例に対応することができた。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしいことの実践に期待します。 ・相談窓口があるということを知りませんでした。 ・学校適応感に関するアンケート詳しくお聞きしたいと思えます。 |
| 【改善策・向上策】 相談窓口があることを生徒・保護者に周知するとともに、職員が事例研究などを通じて認識を深める。 | | | |

| 自己評価 | | 学校評議員評価 | |
|---|----|---------|---|
| 特別活動 | 評価 | | |
| 自主活動の充実と生徒の自立 【成果と課題】 役員による連絡会やミーティングなど情報共有の機会を多くし、より良い運営・活動を模索しながら日々活動している。 【改善策・向上策】 役員間だけでなく、役員と生徒間でも情報共有する場を設けることも考えていきたい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・他校とのものも大事だと思います。 ・学校祭などで様子がよく分かりました。 |
| 地域を視野に入れた活動 【成果と課題】 蒼陵祭や地域での行事、ボランティア活動などを通して、改めて自分たちの立場や行動を顧みることができた。 【改善策・向上策】 更に地域の方と触れ合ったり懇談したりと、積極的に外へ向かう活動も検討していきたい。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・他校とのものも大事だと思います。 ・地域の活動やPRも説教的でないこともあるのでは。 ・休日や平日、早朝にかかわらず花壇作りや水やり積極的に参加して頂き、長寿会一同感謝しています。雪灯りへの毎年の参加地域活性化につながりありがたいことです。 |

| 自己評価 | | 学校評議員評価 | |
|--|----|---------|---|
| 全般 | 評価 | 評価 | コメント |
| P T A 活動の充実・家庭との連携 【成果と課題】 PTA総会や地区懇談会、各委員会活動などの諸活動を年間学校計画に従って行い、保護者や地域に学校の様子を伝えることができた。また、今年度は県高P連・中信高P連の会長・事務局も務め、県内外に本校のPTA活動を発信し、各学校と情報交換をすることで学びを深めることができた。 【改善策・向上策】 来年度もPTAを通じて学校・家庭・地域が課題を共有し、協力できる体制を作っていきたい。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・お願いします。 ・研究発表会等の参加が少ない。 |
| 情報発信 【成果と課題】 新たに図書館のページを開設した。理数科、専門科のページは各学科で対応するが、普通科のページをどこで対応するか検討する必要がある。また、学校行事の様子をすべて発信することができなかった。 【改善策・向上策】 各学科のページ及び「青峰Now!」のページを充実させる必要がある。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・地域に回覧されるスクールマガジンは一般住民が目に見える唯一の学校情報です。学校理解のため、更なる充実を期待しています。 ・お願いします。 ・ご苦労が伺える広報でしたが、ホーツ、ワァと思わせる広報を工夫して！学校のPRが生徒の自信になるように。 |
| 地域との連携・開かれた学校づくり 【成果と課題】 専門科展や学習発表会（課題研究発表会）を通じて地域の方々に学習活動を公開できた。しかし中学生に各学科の内容を説明する機会が少なくそれぞれの学科の教育内容の理解という面では課題が残る。 【改善策・向上策】 職員の中学校訪問や高校施設を利用した交流等が必要ではないか。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・専門科展に中学生へのPRが足りない。 ・地域での日常生活の中で高校生と接する機会がほとんどありません。高校生が地域に出る、地域の諸活動に積極的に参加するような意識や雰囲気涵養できるような活動を教育活動の中に取り入れられない物かと思われます。 ・中学生に学校開放の日をとって頂きたい。 ・大いに工夫して学校が親しくなるように！ ・地方事務所食堂で赤タツ入りのチャーハンのレシピを作り、一週間食堂で販売評判が良かった。これからも活動をお願いします。 ・今年度の学習発表会に参加させてもらいましたが、中学生も参加できたらいいのに…と思いました。 |
| 生徒・職員の健康管理 【成果と課題】 (生徒) 予定通りに健康診断を実施することが出来た。受診勧告も2回行ったが、それでも受診に繋がっていない場合もある。自身の健康管理についての呼びかけを改善していく必要がある。(職員) 超過勤務時間調査を2回実施した。人間ドックの受診率が低くなってしまっているので、年度末でなく早い段階からの受診を促していきたい。 【改善策・向上策】 人身の健康管理についての意識を高めてもらい、受診に繋がるように呼びかけていく。個別の対応も取り入れる。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方、人間ドックは必ず受けて健康で授業を。 |
| 連絡態勢の完備 【成果と課題】 一斉メールの登録率は、担任の先生方の呼びかけにより昨年度より向上した。 【改善策・向上策】 一斉メールの登録率がさらに上がるよう、未登録の生徒及び職員に、さらに声かけをする必要がある。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ・一斉メールの登録は必要であると思います。 |